

# (06135388) 印刷製本包装機械健康保険組合 様 2022年度版(2021年度実績分) 健康スコアリングレポート

\* 本レポートは、2019～2021年度のデータに基づいて作成しています。

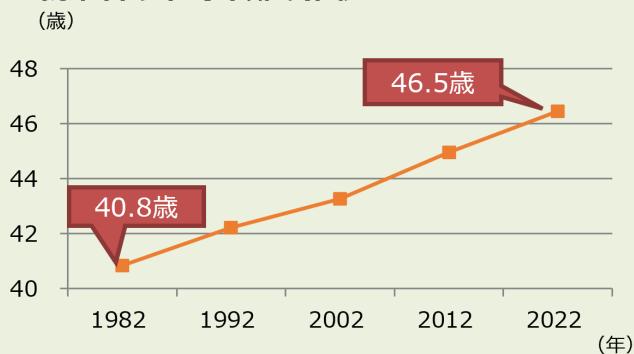
- 我が国は既に人口減少、超高齢化社会に突入し、深刻化する人手不足に加え、従業員の平均年齢の上昇による健康リスクの増大、生産性低下といった構造的課題に直面しています。
- 従業員がいつまでも元気で働き続けられる環境づくり、予防・健康づくりなくして、企業における持続的成長の実現は困難です。
- そのためには、健保組合と事業主(企業)が連携し、一体となって予防・健康づくりの取組を進める必要があります。
- 本レポートでは、事業主と健保組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。経営者においては、企業の財産である従業員等の健康を守るために、健保組合と連携した従業員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は健保組合にお問い合わせください。

## 健保組合の保健事業が健康課題の解決策に！



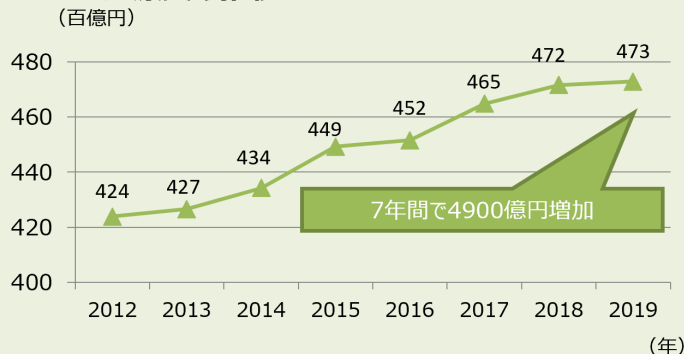
少子高齢化の進展や定年延長といった社会環境の変化に伴い、労働者の平均年齢の上昇に加えて、健保組合における医療費も増加を続けています。こうした中で、従業員等に対する予防・健康づくりの取組をより一層進めるために、事業主と健保組合による協働が求められています。

### ■ 就業者の平均年齢の推移



※総務省統計局「労働力調査」に基づく推計(5歳階級の中央の年齢に就業者数を乗じた値を積み上げ、全就業者数で除す方法で算出)。

### ■ 医療費の推移



※厚生労働省「医療保険に関する基礎資料～令和2年度の医療費等の状況～」に基づき作成。医療費は全健保組合の総額。

#### 【本レポートで使用する用語の定義】

「組合」及び「健保組合」：健康保険組合 / 「全組合」：全健康保険組合 / 「医療費」：年間医療費 / 「特定健診」：特定健康診査 / 「業態」：健康保険組合における業態(29分類)

貴組合の業態は以下で表示


機械器具製造業

# 貴健保組合の予防・健康づくりの取組状況と健康状況の概要

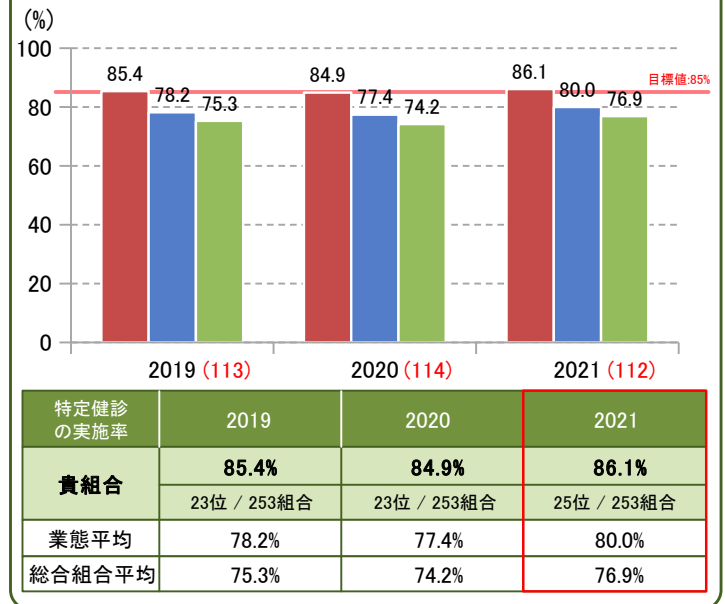
## 【貴組合の特定健診・特定保健指導の実施状況】


**特定健診・特定保健指導** 

総合	組合順位	127位 / 253組合
全組合順位		872位 / 1,380組合

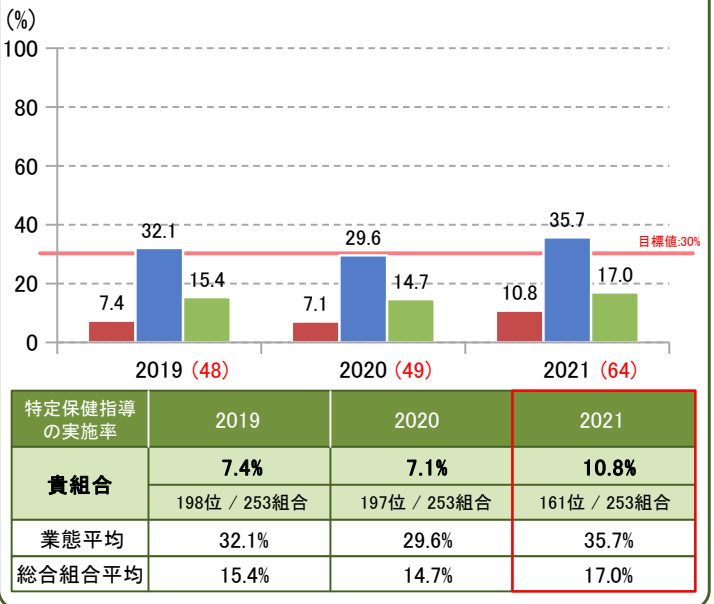
**特定健診の実施率** 

1ランクUPまで(\*1) 最上位です



**特定保健指導の実施率** 

1ランクUPまで(\*1) あと47人

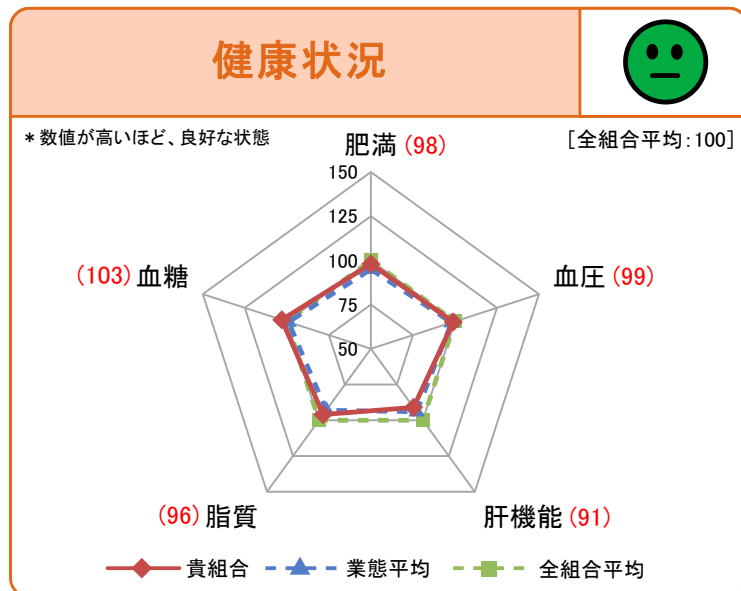


※ 目標値は、第3期（2018～2023年度）特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標。  
 ※ 順位は、保険者種別（単一・総合）目標の達成率の高い順にランキング。  
 ※ ( )内の数値は、総合組合平均を100とした際の貴組合の相対値。

■ 貴組合 ■ 業態平均 ■ 総合組合平均

(\*1) "ランクUP"は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安（実施人数）を記載

## 【貴組合の健康状況】生活習慣病リスク保有者の割合



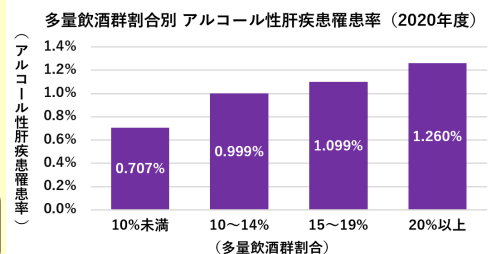
リスク	良好	← 中央値と同程度	→ 不良
肥満リスク			
血圧リスク			
肝機能リスク			
脂質リスク			
血糖リスク			

※ 2021年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

## 【参考】節度ある適度な飲酒で健康な肝臓を！

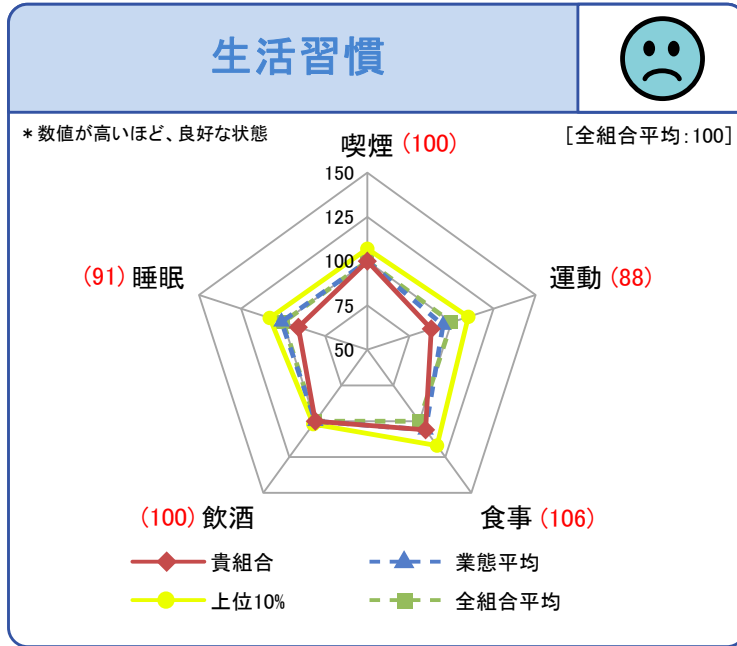
飲酒習慣とアルコール性肝疾患罹患率との関連性を、被保険者の特定健診情報と電子レセプトから集計したところ、**多量飲酒者割合が高い組合は、アルコール性肝疾患罹患率が相対的に高い傾向がみられます。**  
 肝臓は沈黙の臓器と呼ばれ、早期発見に向けた定期的な健診受診が重要です。肝機能を把握し、適切な飲酒習慣を心がけるよう促しましょう。

※アルコール性肝疾患については、レセプト上に「アルコール」が記録されている肝臓がん、肝不全、肝硬変、肝炎、脂肪肝、肝疾患、肝障害、肝機能障害と定義  
 ※多量飲酒者割合は、飲酒状況に関する質問票の回答がある者のみを対象に算出  
 ※「多量飲酒者」とは「飲酒頻度が「毎日」で1日あたり飲酒量が2合以上」もしくは「飲酒頻度が「時々」で1日あたり飲酒量が3合以上の者



# 貴健保組合の生活習慣

## 【貴組合の生活習慣】適正な生活習慣を有する者の割合



リスク	良好 ←	中央値と同程度	→ 不良	ランクUPまで (*1)	
喫煙習慣リスク	😊	😊	😐	😞	あと 305人
運動習慣リスク	😊	😊	😐	😞	あと 257人
食事習慣リスク	😊	😊	😐	😞	あと 99人
飲酒習慣リスク	😊	😊	😐	😞	あと 144人
睡眠習慣リスク	😊	😊	😐	😞	あと 255人

※ 2021年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。  
 ※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。  
 ※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」上位10%の平均値を表す。ただし、業態内の組合数が20以下の場合、全組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。  
 (\*1) 「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安 (リスク対象者を減らす人数) を記載

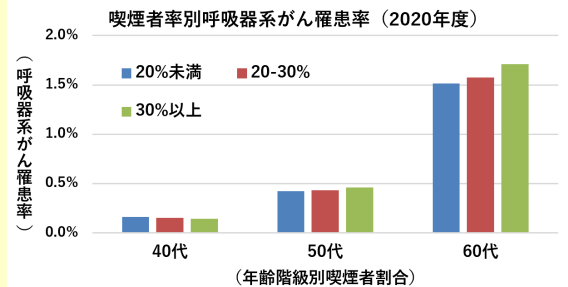
健康状況の経年変化		2019	2020	2021
肥満	貴組合	96	97	98
	業態平均	96	95	95
血圧	貴組合	100	99	99
	業態平均	99	98	98
肝機能	貴組合	90	92	91
	業態平均	95	93	94
脂質	貴組合	96	97	96
	業態平均	96	93	93
血糖	貴組合	103	103	103
	業態平均	99	98	99

生活習慣の経年変化		2019	2020	2021
喫煙	貴組合	100	100	100
	業態平均	100	100	100
	上位10%	107	107	107
運動	貴組合	84	86	88
	業態平均	95	94	95
	上位10%	108	108	110
食事	貴組合	107	106	106
	業態平均	106	107	106
	上位10%	116	116	117
飲酒	貴組合	101	101	100
	業態平均	101	101	100
	上位10%	102	102	102
睡眠	貴組合	91	91	91
	業態平均	101	100	101
	上位10%	108	107	108

### 【参考】 たばこを吸うと呼吸器系がんのリスクが上昇！

保険者の喫煙者割合と呼吸器系がんの罹患率を年齢階級別に集計した結果、40代以上では年代が上がるほど、また50代以上では喫煙者割合が増えるほど呼吸器系がんの罹患率が上がることがわかりました。喫煙歴が長いほど、がんのリスクも上がるとされており、より早期から喫煙対策・禁煙事業に取り組むことが重要です。

(※呼吸器系がん…肺がん、口腔がん、咽頭がん、喉頭がん、鼻腔(副鼻腔)がん)



😊 ← 中央値と同程度 → 😞

良好 ← 中央値と同程度 → 不良

全健保組合平均を100とした際の各組合の相対値を高い順に5等分し、「良好😊」から「不良😞」の5段階で表記しています。

(注)【本レポートにおけるデータ対象】

・医療費：全加入者 / 特定健診(健康状況・生活習慣)：40歳~74歳。  
 ・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「-」を表示。  
 健康状況・生活習慣・医療費は、対象となる加入者数50名未満の場合「×」を表示。

・合併のあった組合については、合併前の各組合のデータを合算して表示。

# 貴健保組合の医療費概要

## 【貴組合の医療費の状況】1人あたり医療費と性・年齢補正後標準医療費の推移

### 医療費

参考：医療費総額(2021年度)

貴組合

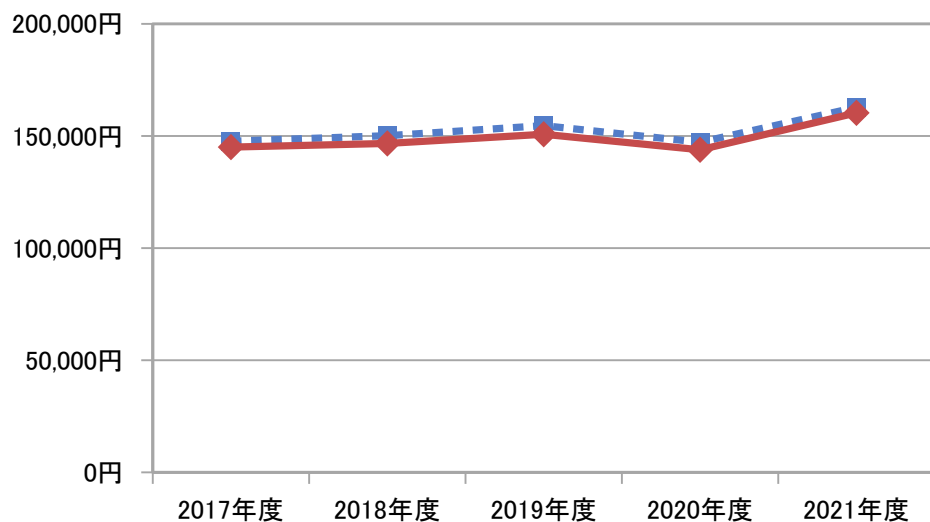
7,876百万円

◆ 1人あたり医療費

性・年齢補正をしていない貴組合の総医療費を貴組合の加入者数で除した医療費。

■ 性・年齢補正後標準医療費

全組合平均の性・年齢階級別1人あたり医療費を、貴組合の性・年齢階級別加入者数に当てはめて算出した1人あたり医療費。



	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1人あたり医療費	145,051円	146,678円	150,772円	143,855円	160,318円
性・年齢補正後標準医療費	147,682円	150,140円	154,622円	147,225円	162,784円

### 【貴組合の1人あたり医療費(2021年度)】

貴組合	性・年齢補正後標準医療費	性・年齢補正後組合差指数
160,318円	162,784円	0.98

参考：貴組合の男女別・年代別1人あたり医療費(2021年度)

	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
貴組合	152,898円	170,927円	83,499円	121,623円	143,089円	222,683円	309,416円
業態平均	155,433円	166,545円	87,606円	112,538円	143,251円	215,415円	325,764円
全組合平均	159,880円	166,873円	91,685円	118,845円	148,808円	221,475円	333,034円

※性・年齢補正後組合差指数とは、医療費の組合差を表す指標として、1人あたり医療費について、加入者の性・年齢構成の相違分を補正し、全組合平均を1として指数化したもの。指数が1より高いほど、全組合平均と比較して性・年齢補正後の医療費が高い傾向であることを示す。具体的な算出方法は、参考資料巻末「各指標の算出方法」及び「健康スコアリング活用ガイドライン」を参照。

健康スコアリングレポート【レポート本紙】

2022年度版

(2021年度実績分)

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省